

[建設農政] 課 経 営 計 画 書 (総 括 表)

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H25 年度計画額 (単位 : 千円)		H25 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	農業委員会事業	B	5,977	2,663	2.0	0.5
2	農業振興事業	A	14,639	1,380	1.0	0
3	農地流動化事業	B	615	0	0.5	0
4	土地改良事業	B	49,423	17,331	0.50	0
5	道路維持管理事業	A	109,182	17,682	1.50	1.5
6	道路整備事業	B	119,214	0	0.75	0
7	橋りょう維持管理事業	B	500	0	0.25	0
8	橋りょう整備事業	A	0	0	0	0
9	河川排水路維持管理事業	B	8,992	0	0.60	0
10	河川排水路整備事業	B	10,500	0	0.40	0
11	調整池維持管理事業	B	3,803	1,380	0.25	0
12	調整池整備事業	A	19,751	6,583	0.25	0
合 計			342,596	47,019	8.0	2.0

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	01
事業名	農業委員会事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
目的	地域環境の質的な向上につながる農地の保全を目指すため、農地転用の適正審査、耕作放棄地の縮小など、健全な委員会運営に努める。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会総会運営 ・ 農地法関係許可申請 ・ 農業者年金関係 ・ 納税猶予関係事務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地情報管理システム ・ 農家基本台帳の配布、回収 ・ 農業委員選挙人名簿の配布、回収 ・ 遊休農地、不法転用パトロール 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法関係許可申請では、不正防止のため委員認証を廃止し、現地確認方式を平成23年8月から導入し、農業委員による発言方式を徹底してきた結果、安定してきている。 ・ 各委員にファイルを渡し、活動日誌の徹底をはかる必要がある。また、総会資料の取扱い(個人情報保護)について、任期終了後に回収予定であるので、徹底する必要がある。 ・ 3年目になる遊休農地、不法転用パトロール後の指導、農地相談を進め、徹底する必要がある。 ・ 農業委員会議事録の窓口での閲覧の充実を図る。 		
平成25年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会活動の充実を図る必要がある。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 耕作放棄地解消のための農地相談 2) 不法転用の是正指導 3) 3条申請後の農地営農確認方法の確立 4) 農地パトロールの充実 5) 活動報告書の記載内容の充実(活動の充実) 		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容	
4	25年度委員会活動計画の策定	公表(HP等)
6	農業者年金現況届の回収	経営移譲年金受給者のチェック
7	3条申請後の申請地のパトロール（新規事業）	委員2名及び事務局2名で担当区域を確認
8	納税猶予（税務署からの通知者）現地確認	事務局2名で確認
9～11	農家基本台帳の配布、回収	農事組合組織に配布を依頼
9	農地パトロール	委員2名及び事務局2名で担当区域を巡回
3	農業委員研修	愛知県主催
随時	25年度委員会活動点検・評価	公表(HP等)
	農地法関係許可申請	委員、事務局で事前現地調査を実施
	農地相談	農地パトロール後の個別相談を実施
	議事録の閲覧	議事録の窓口での閲覧の充実

□3年間の目標

目標	・農地法関係許可申請時の現地調査、農地パトロール等農業委員が委員会運営に積極的に関われる環境を整え、委員会活動計画をより実効性のあるものにする。					
項目（単位）	H23計画	H23実績	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25年度	
H26年度	

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	6,344	6,028	5,977
(内特定財源)		千円	2,635	2,660	2,663
人工	職員	人工	1.8	1.60	2.0
	臨時職員	人工	0.5	0.50	0.5
	計	人工	2.3	2.10	2.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
農業関係証明等手数料	4	6-1-1(03) 農業委員会事業
農地制度実施円滑化事業費補助金	847	6-1-1(03) 農業委員会事業
農業委員会交付金	1,692	6-1-1(03) 農業委員会事業
農業者年金業務委託手数料	116	6-1-1(03) 農業委員会事業
図面、用紙等売払収入	4	6-1-1(03) 農業委員会事業
合計	2,663	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13 委託料	1,234	△54	23・24 年度に行った見直し分のデータ更新が完了したため。

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 1)、4) 耕作放棄地解消のため、11月から12月に町全域において農業委員による農地パトロールを行い、耕作放棄地と認められる農地（37筆）の地権者に対し、文書勧告による現状の把握と適正な指導を行った。
- 2) 不法転用の是正指導については、農地パトロール等により発見する度に指導を行い、農地復元及び書類申請による是正を行った。
- 3) 3条申請後の農地営農確認については、農地法の申請による現地確認をした際に営農されているか確認した。
- 5) 活動報告書の記載内容の充実(活動の充実)については、農業委員会総会を開催した際、必要に応じて報告書の記載方法等の説明を行った。

■ 評価

おおむね健全な運営がされていると評価できる。

農業委員による農地パトロールは、耕作放棄地の現状を把握することや違法転用の早期発見と是正にもつながっているため、更にパトロールの頻度を増やし行う必要がある。

3条申請後の農地営農確認については、確認のためのルール化を検討し始めた段階であり、今後ルールが確立できるように努める。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	2
事業名	農業振興事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
目的	水田農業の経営の安定化及び農地の保全推進。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲の生産調整に関する業務 ・ 農業の担い手に対する支援 ・ 有害鳥獣の駆除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産調整に対する補助については、国の施策の動向に注意しながら、制度の在り方について検討する。 ・ 利子補給等 ・ 猟友会（資格取得者）に委託 	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地対策を視野に入れた農業保全が急務である。 ・ 米の消費減少に伴う水稲の過剰作付による需給バランスの悪化 ・ 将来的な担い手の育成及び安定化 		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者戸別所得補償制度については、国から県、町地域農業再生協議会を經由して補助金を交付する。 ・ 有害鳥獣対策については、地元猟友会と連絡を密にして対策を図る。 ・ 尾張農業共済事務については、県の統合がスムーズに移行できるよう適正な事務を心がける。 		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容	
4	有害鳥獣事務	猟友会と契約
4~8	生産調整現地確認	JA と共同して確認
3	実施計画書(生産調整)の配布	農事組合を經由して配布
随時	各種補助、負担金の支出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尾張北部地域農業改良推進協議会負担金 ・ 尾張農業共済事務組合負担金 ・ 水田農業経営確立対策奨励費 ・ 農業近代化資金等利子補給金 ・ 農業者戸別所得補償制度推進事業補助金 ・ 農事組合協力費

□3年間の目標

目 標							
	項 目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	
H27 年度	

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	16,156	20,387	14,639
(内特定財源)		千円	568	769	1,380
人工	職員	人工	1.8	1.6	1.0
	臨時職員	人工	0.5	0	0
	計	人工	2.3	1.6	1.0

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
園芸農産振興・農産物流通対策	1,284	6-1-3(03) 農業振興事業
農業経営基盤強化資金利子補給金	96	6-1-3(03) 農業振興事業
合 計	1,380	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
19-2,6 (農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金)	1,145	1,145	H25 より国から県、町を經由して町地域農業再生協議会へ交付するため

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・農地の保全対策として、耕作放棄地の地権者に対し認定農家等へ利用権の設定のあっせんを行った。
- ・有害鳥獣対策として、農家からの通報があった場合には、即日に委託している江南猟友会に連絡し現地を確認することによって、捕獲率の向上に努めた。
- ・尾張農業共済事務が愛知県農業共済に統一され移行されることから、総代及び評価員の選出を行った。

■ 評価

農地の保全に向けての農地パトロールを行い、耕作放棄地の地権者に対する指導を行っているが、畑地の耕作放棄地への効果が上がっていない。

様々な農業振興に関わる事業が展開され、その事業の改善も実施されたが、町全体における農地保全や農地の有効的な農業としての利用が明確に形になってこない状況である。

今一度、現事業を展開しつつも、改善、評価を繰り返し農業の振興を図る必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	03
事業名	農地流動化事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
目的	農業振興地域整備計画は、優良な農地を確保・保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に推進する。		
事務内容	・ 農地の利用集積の推進 ・ 農業振興地域整備促進協議会の開催		
現在における 経過又は課題	農地の荒廃化の未然防止及び担い手農家の規模拡大 農業振興地域整備計画の変更の個別案件について、関係各機関と調整を図る必要がある。		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	景気停滞から農地の開発案件が少ない状況であるが、引き続き担い手農家の営農を妨げないように農地の保全に努める必要がある。 農業振興地域整備計画の変更の個別案件については、農振庁舎内会議、農振協議会等に案を提出し進めていく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
6	農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議）
9	農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議）
12	農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議）
3	農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議）

□3年間の目標

目標	・農業振興地域整備計画の見直しを予定どおりに進める。					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	
H27 年度	

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	1,257	2,406	615
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.7	0.8	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.7	0.8	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
(農業振興事業に同じ)		
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
11-4, 1(印刷製本費)	0	△741	5年ごとの農業振興地域計画見直し終了のため
13-22, 1 (農業振興地域整備計画図面等作成委託料)	0	△1,050	5年ごとの農業振興地域計画見直し終了のため

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

農業振興地域整備計画の変更については、計画どおりに農振庁舎内会議、農振協議会等に案を提出し、平成26年1月に公告した。

農地の利用集積の推進については、認定農業者等の打ち合わせ会を開催し、効率の良い農地の集約に努めた。

■ 評価

農業振興地域整備計画の変更については、予定どおり実施できたと評価できる。

担い手農家の規模縮小に伴い耕作農地を他の担い手へ配分することによって、効率の良い農地に集約化ができた。今後、耕作放棄地や担い手の減少等の課題に対して、積極的に対策を講じる必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部 建設農政課	No.	04
事業名	土地改良事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共存した産業の発展
目的	農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保及び、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、河川及び橋りょう工事を含め合理的に整備ができるように計画的な改修及び修繕計画を立てる。 ・用水路のパイプライン化の調査検討 ・排水路敷きの緑化調査検討 	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大している。営農に支障をきたす箇所においては緊急的に修繕を発注する必要があるため、計画的な維持修繕が困難な状況にある。 また、近年の財政状況により、広域的かつ段階的に整備が出来ない状況にある。 		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な地区を選定し、計画的かつ合理的に整備していく。 ・平成 24 年度に作成した台帳を利用し、用排水施設の修繕計画の策定 ・区要望に対する早期回答 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 7	用排水路保守点検委託業務発注 用水管理
9	単独土地改良事業の認可申請 認可（予定）
11	認可受けた施設の改修工事の発注
12 3	完了

□3年間の目標

目標	平成24年度に作成の用排水路施設台帳を基に、平成25年度は引き続き維持管理（回収・修繕・補修）計画を策定する。平成26年度以降は、事業計画に沿って、事業実施を行う。（達成年次未定）					
項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H26目標	H27目標
用排水路施設台帳整備			作成			
維持管理計画策定				策定	事業実施	事業実施

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	維持管理計画に沿った事業実施
H27年度	維持管理計画に沿った事業実施

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	22,754	41,762	49,423
(内特定財源)		千円	4,278	9,861	17,331
人工	職員	人工	0.40	0.40	0.50
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.40	0.40	0.50

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
単独土地改良事業費補助金	17,330	土地改良事業
大瀬川堰維持管理負担金	1	土地改良事業
合計	17,331	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	用排水路台帳 作成委託料(新規)	0	△8,369	H24 年度台帳作成完了
15	農道、農業用排水安全対策等 施設整備工事費	40,750	16,550	県費補助額の増額(要望額)によるもの
19	県営土地改良事業	480	△513	県営水質保全対策事業の縮小によるもの

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)を目指し、補助金等を効果的に活用し施設の延命を図る。

単独土地改良事業縮小のため維持管理計画を策定する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

用水出水期前に、入鹿用水、木津用水、昭和用水、郷浦排水路、岩倉用水（1号）、岩倉用水（2号）の各ゲート等の動作確認、不良箇所点検を行い、適切なかんがい排水に努めた。

また、各田んぼの取水口等不具合についても、田植期通水前と中干し期間に集中して行い、営農に支障がないよう努めた。

■ 評価

県費補助事業によるかんがい排水工事等を7地区要望していたが、採択されたのは2地区にとどまり、更新が必要な水路の改修は進んでいない。事業箇所については、内部精査のうえ優先度に応じた選定をしなければならない。また、これに加え、水路入替更新だけでなく目地修繕等小規模修繕により老朽化対策を講じていく必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	05
事業名	道路維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、道路維持修繕等工事 ・ 道路樹木の維持管理 ・ 道路台帳更新業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民団体による道路樹木の時管理 ・ ・ 	
現在における 経過又は課題	<p>道路、道路付属施設などの公共土木施設を建設し、管理してきましたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設点検とデータ整理による状況把握と評価 ・ 求められる性能を念頭とした管理水準の設定 ・ 劣化予測による将来の状況、性能の推定 ・ 中長期管理計画の策定(予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画) 		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の平準化を考えた長期的な主要町道舗装修繕計画を策定する。 ・ 予算の平準化を考えた中期的な道路付属物修繕計画を策定する。 ・ 区要望に対する早期回答 ・ 舗装工事について占用工事の舗装復旧と調整を行い生活道路の快適性を向上する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	道路樹木維持管理業務の年間契約及び維持管理に係る各種単価契約 平成 25 年度維持管理工事実施計画策定
5~8	道路台帳更新業務 交付金事業で通学路の安全対策として路側のカラー舗装化等
随時	平成 26 年度から舗装修繕を交付金事業とするための計画書作成 舗装、道路維持修繕等工事

□3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要町道舗装修繕計画の策定と計画実施 ・ 通学路の安全対策 					
項目（単位）	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 目標	H26 目標	H27 目標
主要町道舗装修繕計画			計画策定	計画策定	計画実施	計画実施
通学路の安全対策			計画実施	計画実施		

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施 ・ 通学路の安全対策
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施 ・ 通学路の安全対策

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	131,329	127,210	109,140
(内特定財源)		千円	15,471	15,330	17,682
人工	職員	人工	2.4	3.26	1.50
	臨時職員	人工	0.0	1.00	2.00
	計	人工	2.4	4.26	3.50

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
道水路占用料	15,757	道路維持管理事業
社会資本整備総合交付金 (防災・安全)	1,925	道路維持管理事業
合 計	17,682	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
11	消耗品費	1,083	73	住民団体の草刈作業の安全対策品(反射安全ベストとコーン)を計上。
13	道路台帳更新作業委託料	4,181	653	OSがWindows7移行に伴うシステム再インストール作業
13	道路樹木維持管理等委託料	8,284	95	住民団体の草刈作業の安全対策として損保保険相当額を追加計上
13	道路修繕計画策定委託料	0	△9,000	H24 に主要町道の長寿命化を図るため修繕計画を策定した。
15	道路工事費	85,500	△10,000	柏森大口線の街路灯塗装を H24 で実施

■特記事項

舗装修繕計画を策定することにより、主要町道の長寿命化を図るとともに工事費が補助対象となる見込みである。但し、策定業務がH24年度末のため、実施はH26年度からとなる。

これとは別の補助対象として、社資本整備で通学路の安全対策（路側のカラー舗装化）をH24年度で一部、H25年度から実施する。

■目標又は改善策に対する取組内容

・交付金事業による舗装修繕を計画しており、平成24年度に作成した舗装修繕計画を基に平成26年度からの5箇年計画（安全で快適な生活道路の整備（防災・安全））を策定し事業要望した。

・緊急修繕対応となる随時区要望（舗装部分修繕。道路反射鏡の修繕や設置等）については、現場確認のうえ速やかに対応した。

・舗装工事延長は、1,579mを施工した（うち、復旧下水道舗装と同時施工で1,222mした。）。

■評価

・住民団体による道路の草刈りや低木管理については、契約に際し各団体に傷害保険、賠償責任保険に加入することを求めた（保険相当額を増額して契約）他、作業時に反射ビブスやカラーコーンの貸出をすることにより、作業における安全対策の向上が図れた。

・舗装修繕計画については、5年分の施工箇所を選定しているが、交付金事業費の内定額や他事業との調整により計画通りとならない場合も想定されるため、必要に応じ計画の修正が必要となる。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	06
事業名	道路整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	道路の改良により、安全で安心な生活環境を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路用地の購入 ・ 道路拡幅、改良工事の設計 ・ 道路拡幅、改良工事の施工 		
現在における 経過又は課題	限られた資金の中で、交通上の安全や良好な生活環境を確保するために歩道や側溝の整備、用地の取得を行わなければならない。		
平 25 年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期的な歩道整備等道路整備計画の策定 ・ 区要望に対する早期回答 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路用地の購入 ・ 道路改良工事の設計、施工（用地、用水時期等条件の整ったものから） 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） 町道高橋替地線道路改良（替地天神社用地取得手続き～） 町道大屋敷 29 号線道路改良 町道秋田 24 号線道路改良 町道大屋敷 5 号線（町道大屋敷線）交差点改良 ※歩行者用信号設置を伴う

□3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・ 					
項目（単位）			H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標
大口桃花台線歩道切下	H12～ 16	H18～ 19	新規継続	継続	継続	継続

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	192,664	186,474	119,214
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.60	0.42	0.75
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.60	0.42	0.75

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	委託料	4,843	△1,157	職員人工数と事業量の適正化
15	工事請負費	95,335	△56,305	職員人工数と事業量の適正化
15	公有財産購入費	3,563	△7,255	職員人工数と事業量の適正化

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・町道大口桃花台線の役場南線交差点以西の歩道について、フラット形式としバリアフリー化を進めており、平成25年度は、前田鉄構前まで工事完了した。
- ・町道高橋替地線については、替地天神社（替地自治会含む）の補償物件の移転計画が他事業の影響もあり繰越をすることにより、工事については、次年度となった。

■ 評価

- ・町道大口桃花台線歩道フラット形式化工事については、平成26年度で国道41号以西の歩道フラット形式化が完了する。国道41号以东については、国道から合瀬川の区間までがマウントアップ形式となっているが、南側歩道については、歩道幅が広いため、支道取付部の摺り付けによりバリアフリー化は図れること。また、北側については、病院乗り入れが現道に合わせて作られており、高さ変更することが改良とならないため、全体の高さ変更をする改良はしないものとする。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	07
事業名	橋りょう維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋りょうの長寿命化修繕計画の策定 ・ 橋りょうの修繕工事の設計 ・ 橋りょうの修繕工事の施工 ・ 橋りょうの維持管理 		
現在における 経過又は課題	<p>H22 から橋りょう長寿命化修繕計画策定にむけ現状を把握するため橋りょう点検を実施し、H24 に橋梁長寿命化修繕計画策定を実施している。</p> <p>現在は、架設から相当年数経過した橋りょうが多数あるが、実施に向けた架け替え及び修繕計画を策定する必要がある。</p>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<p>H22、23 で実施した橋りょう点検結果に基づき、H24 に実施の橋梁長寿命化修繕計画を基に H26 年度から修繕を進めていくための精査をしていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
~11	H26 から交付金事業で橋梁修繕をしていくための計画策定

□3年間の目標

目標	・・・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H26 目標
橋梁長寿命化修繕計画			策定	策定	定	
橋梁整備事業へ移行				→	実施	実施

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	橋梁長寿命化修繕計画にもたれて、橋梁整備事業への移行 橋梁整備工事に向けた設計の発注
H27 年度	橋梁整備工事に向けた工事の発注・ .

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	6,069	2,348	500
(内特定財源)		千円	2,750	550	0
人工	職員	人工	0.40	0.36	0.25
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.40	0.36	0.25

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	委託料	0	△1,848	H24 に橋梁長寿命化修繕計画策定をした。

■特記事項

H26 以降は橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの修繕、架け替えを実施するので大きな支出が見込まれる。(特定財源として社会資本整備総合交付金有)

■ 目標又は改善策に対する取組内容

平成 26 年度から橋梁長寿命化修繕を交付金事業（県パッケージは、H24～H28 の 5 箇年事業）で実施するため H26～H28 年度計画を事業要望した。

■ 評価

平成 24 年度に作成した橋梁長寿命化修繕計画における各橋の修繕事業費は、県の過去の修繕事例からパターン化した単価で計上されているため、実際の事業費と異なる場合がある。交付金事業として事業を行うには、金額の精査が必要となるため、平成 26 年度修繕橋梁については、平成 26 年の早期に詳細設計発注が必要になる上、翌年度の修繕橋梁についても前年度に精度の高い予算を計上できるよう準備が必要となる。また、他事業との調整についても考慮が必要となる場合があり、修繕計画の一部変更（優先順）も検討する必要が生ずる場合もある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	08
事業名	橋りょう整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの架け替え、拡幅、歩道設置等を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋りょうの整備工事の設計 ・ 橋りょうの整備工事の施工 ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	架設から相当年数経過し、老朽化した橋りょうが多数あるが、架け替えに時間、費用がかかる。		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	橋りょう維持管理事業で行う橋梁長寿命化修繕計画により、橋りょうの修繕、架け替えに関する年次計画を策定する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	橋梁長寿命化修繕計画により修繕、架け替え時期等、年次計画の策定

□3年間の目標

項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H26目標	H27目標
橋梁長寿命化修繕計画策定	点検業務 →	点検業務 →	計画策定 →	計画策定 ↓		
橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備				→	実施	実施

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備の実施 橋梁改築・修繕等実施設計委託業務の発注
H27年度	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備の実施 橋梁改築・修繕等整備工事の発注及び実施設計委託業務の発注

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	13,900	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.40	0.00	0.00
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.40	0.00	0.00

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

H26 以降は橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの整備、架け替えを実施するので大きな支出が見込まれる。(特定財源として社会資本整備総合交付金有)

■ 目標又は改善策に対する取組内容

平成 25 年度は橋梁整備事業費無し。

■ 評価

平成 25 年度は橋梁整備事業費無し

建設農政課事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	9
事業名	河川排水路維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の維持管理を行うとともに長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側溝横断管等浚渫 ・ 住民団体への河川排水路の除草作業の委託 ・ 河川敷併用道路の草刈業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川排水路の維持管理工事 ・ ・ ・ 	
現在における経過又は課題	<p>河川、排水路施設を建設し管理してきたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <p>組立水路の老朽化が進み豪雨時に破損することがある。</p> <p>道路側溝、排水路の暗渠化に伴い浚渫要望箇所が増えている。また、開水路においても多量の堆積物、雑草により流下能力が低下する施設がある。</p>		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画の中で、予算の平準化を考えた長期的な排水路修繕計画を策定する。 ・ 区要望に対する早期回答 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	側溝横断管浚渫工事の実施
6~	住民団体による河川敷道路の除草（年間） 業者委託による河川敷道路の除草

□3年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H25目標	H26目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	. .
H27年度	. .

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	15,188	8,992	8,992
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.30	0.26	0.60
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.30	0.26	0.60

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

河川の堤防道路草刈り管理については、元来実施してきた業者委託が、地元団体にとって代わりつつあり、コスト縮減と住民の環境保全に対する意識向上につながっている。また、五条川河北地区については、昨年度に大口町建設協力会と草刈りについて協定書締結したのに加え、新規地元団体から草刈り活動の申し出があり次年度からは契約締結の見込みである。

■ 評価

河川、排水路の草刈りについては、業者発注範囲縮小とともに、地元団体への委と直営（産業推進室）により事業費の縮小につながっている。

近年の集中豪雨は、河川、排水路の排水能力を超える降雨量であるため、道路冠水等の被害が各所で見受けられる。排水路の改修については、下流域より順に進めていかなければならないため、改修による早期解消は困難であることから、原状排水路の能力を損なわないよう、草刈り等により排水断面の維持管理が重要となってくる。河川の維持管理で効果を出しつつある地元団体活用について、河川以外の集落内排水路等維持管理にどのようにつなげていけばよいか検討が必要である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	10
事業名	河川排水路整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の整備を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川排水路の改良工事の設計 ・ 河川排水路の改良工事の施工 ・ 		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨時に流下能力が不足する水路があり、老朽化した組み立て水路においては破損することがある。 ・ 接続する下流河川、排水路の流下能力が不足する場合がある。 		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画との整合を図り、長期的な排水路改修計画を策定する。 ・ 水路上部のブロック崩壊により破損した秋田一丁目地内の排水路の工事をする。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	排水路改修工事実施

□3年間の目標

目標	...					
項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H25目標	H26目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	・ ・
H27年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	0	6,100	10,500
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.00	0.22	0.40
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.00	0.22	0.40

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
15	工事請負費	10,500	4,400	秋田、外坪地内で排水路改修工事を実施する。

■特記事項

排水路の改修工事をすすめ、豪雨時における越水、破損の防止をめざす。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

秋田一丁目地内排水路について、水路及び上部コンクリート崩落により一部改修したが、同様の危険性がある下流部について改修を行った。

■ 評価

平成 24 年度に引き続いて実施した排水路改修だけでなく、圃場整備頃に整備された田んぼ周辺の排水路のうち、法面コンクリートがない区間において、いくつかの箇所です水路背面の土が抜け落ちており、水路だけでなく、管理道路にも支障が出てきている。一般の通行がないだけに不良確認時には、規模や時期的問題から応急措置しかとることができていない。適切な水路保全のためには、道路パトロールだけでなく、水路パトロールを行い、不良箇所の早期発見と対応措置がとれるよう体制を整えていく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	11
事業名	調整池維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整池の修繕工事の設計 ・ 調整池の修繕工事の施工 ・ 調整池の維持管理 		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ H23 からポンプ施設の適正な運転を維持するため定期点検を行っているが、相当年数経過している施設の維持管理費の増加が懸念されている。(余野1号調整池のポンプは1基故障している。) ・ 調整池は接続している排水路等の流量が一定の量を超えると流入する構造となっているが、実際の豪雨時にどの程度貯留しているかは現地でないといわれないため緊急時の状況把握に時間がかかる。 		
平成25年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期点検結果に基づき適正に維持管理を行う。 ・ 余野1号調整池のポンプ取替修繕を行う。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	余野1号ポンプ取替修繕発注
5	定期点検実施
10	吊下げチェーン取替等修繕実施
	除草、清掃（適宜）

□3年間の目標

項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H26目標	H27目標
保守点検業務	実施	実施	実施	実施	実施	実施
ポンプ取替修繕工事				実施		

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	保守点検維持管理を実施・ ・
H27年度	保守点検維持管理を実施・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	3,197	8,768	3,803
(内特定財源)		千円	690	690	1,380
人工	職員	人工	0.3	0.26	0.25
	臨時職員	人工	0.0	0.00	0.00
	計	人工	0.3	0.26	0.25

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
奈良子川調節池管理委託金	690	調整池維持管理事業
昭和川調節池管理委託金	690	調整池維持管理事業
合計	1,380	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	調整池維持管理委託料	1,169	264	1か所(昭和川調節池)追加
15	調整池維持工事費	500	△5,618	H24実施の水位計取付工事は本年度無

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。

水位計の設置したことにより調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

余野 1 号調整池については、ポンプの稼働不良が確認されたため、分電盤修繕を実施。

■ 評価

平成 25 年度は、県一宮建設事務所から奈良子川調節池と昭和川調節池の維持管理を受託しており、職員による排水の日常管理の他、奈良子川調節池は地元団体による草刈り等維持管理、昭和川調節池は産業推進室協力による草刈り等管理ができており、管理上の不具合はない。

平成 24 年度に設置した五条川及び昭和川設置の水位計についても、降雨時には定時観測データの確認により、適時パトロールが可能となっている。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設農政課	No.	12
事業名	調整池整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、集中豪雨等による水害を減少させるために雨水貯留施設を整備する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整池整備工事計画・基本設計 ・ 調整池整備工事詳細設計 ・ 調整池整備工事 ・ 		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新川流域水害対策計画に基づき、5千㎡分の調整池整備が必要である。 ・ 調整池の整備には、排水系統に合致した位置にまとまった用地が必要となる。 		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	替地三丁目地内に調整池整備に必要な計画・詳細設計を行う。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7	調整池整備工事詳細設計業務委託
随時	上地計画（公園）との摺り合わせ（都市整備課、地元）

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・替地三丁目地内に調整池を整備することにより、この地域の水害を防ぐ。 ・長期的な調整池整備計画の策定 					
項目（単位）	H22実績	H23実績	H24実績	H25計画	H26目標	H27目標
調整池の整備計画			基本設計	詳細設計		
調整池整備工事					工事実施	工事実施

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・替地三丁目地内調整池整備工事の発注 ・
H27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	0	11,214	19,751
(内特定財源)		千円	0	0	6,583
人工	職員	人工	0.00	0.26	0.25
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.00	0.26	0.25

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
社会資本整備総合交付金 (防災・安全)	6,583	調整池整備事業
合 計	6,583	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	委託料	19,751	8,537	調整池の詳細設計を実施

■特記事項

H25 に詳細設計の費用、H26 に工事費として多額の予算が必要となるが、基金の利用と特定財源として社会資本整備総合交付金(補助率 1/3)を受ける。

■目標又は改善策に対する取組内容

平成 24 年度に替地調整池の基本設計を実施しており、その成果を基に替地地区住民説明会を開催し調整池の整備による効果と工事に対するご理解とご協力を願った。

その後、詳細設計を実施し、本体構造がプレキャスト製の 500m³ の調整池となっている。工事については、平成 26 年度に交付金事業で実施を予定しており、事業要望を行った。

■評価

平成 24 年度基本設計成果による概算事業費が調整池規模に対してかなり高価となったため、詳細設計においては、工事費の縮減を主目標に進めた。その結果、躯体構造及び作業ヤードの見直しにより、基本設計時算出の概算工事費を半減することができている。また、事業について地元説明を行った結果、作業所の工事期間中移転等の諸条件も確認できているが、調整池完成後の公園整備時における同作業所の取り扱いについては都市整備課及び地元との再調整が必要である。